

中広土192

2015・1・29 (木) TEL78-2024 文責：校長

【学校教育目標】 自主・自律

【めざす生徒像】

- 1 学ぶ楽しさを知り、意欲的に根気強く学ぶ生徒
- 2 互いを尊重し、高め合う生徒
- 3 心身共に健康で安全な生活を築く生徒

県立Ⅰ期選抜は今年も高倍率 郡山地区は大激戦！

2月3日、4日に県立高校のⅠ期選抜入試が行われます。Ⅰ期選抜は、基本的に面接と作文（小論文）ですが、面接のときに多くの高校で教科の学力をみる質問があります。郡山地区の高校は今年も2倍前後の高倍率です。初めから県立Ⅱ期に絞って学習を進めている生徒がいますので、Ⅰ期に出願した人もⅡ期選抜に向けた学習をしっかりと行っていることが大事です。下表の学校は県中地区のおもな県立高校のⅠ期選抜出願状況です。

高校名	学科	定員	Ⅰ期定員	志願者数	Ⅰ期倍率
安積	普通	320	32	70	2.19
安積黎明	普通	320	32	99	3.09
郡山	普通	240	24	71	2.96
	英語	40	8	24	3.00
郡山東	普通	280	70	145	2.07
郡山北工	機械	80	36	65	1.81
	電気	40	18	21	1.17
	電子	40	18	25	1.39
	情報技術	40	18	35	1.94
	建築	40	18	46	2.56
	化学工業	40	18	23	1.28
郡山商業	流通経済	120	48	95	1.98
	会計	80	32	66	2.06
	情報処理	80	32	73	2.28
あさか開成	国際科学	200	50	96	1.92
清陵情報	情報電子	80	36	47	1.31
	電子機械	80	36	61	1.69
	情報処理	80	36	59	1.64
	情報会計	40	18	27	1.50
須賀川桐陽	普通	200	70	138	1.97
	数理科学	40	16	18	1.13
田村	普通	200	80	105	1.31
	体育	40	32	43	1.34
船引	普通	120	54	91	1.69
小野	総合学科	120	54	52	0.96
小野平田	普通	40	8	5	0.63

私立高校の入試は全員合格！

本校生徒が受験した私立高校の入試は本日の尚志高校の合格発表をもって終了し、受験者全員合格することができました。私立高校を第1希望としていた3名と、福島工業高等専門学校（福島高専）に推薦合格となった1名を合わせて4名の進路が確定しました。私立高校と福島高専の学科ごとの合格者内訳は次のとおりです。

【日大東北】普通Ⅰコース11名、普通Ⅱコース1名 【帝京安積】普通1名、ビジネス総合2名 【尚志】普通特別進学1名、普通総合進学4名 【福島高専】機械工学1名

2月の行事予定



- 3日（火）県立Ⅰ期選抜
3年生給食なし
- 4日（水）県立Ⅰ期選抜
- 5日（木）PTA合同役員会
- 6日（金）第3回漢字検定
県立Ⅰ期合格内定発表
- 9日（月）生徒会奉仕委員会、部活動反省会
- 11日（水）建国記念の日
- 12日（木）新入生1日体験入学
- 16日（月）3年生実力テスト
- 18日（水）後期生徒会総会
部活動なし（テスト前）
- 19日（木）市教育実践報告会
部活動なし（テスト前）
- 20日（金）1, 2年生期末テスト
- 21日（土）授業参観・PTA総会
給食なし（弁当）
- 23日（月）繰替え休業日
- 24日（火）学校評議員会
- 25日（水）3年生へ消防協力認定書交付

情報モラル教育講座開催 スマホ・ライン・オンラインゲームの危険性を学ぶ！



1月27日に福島県教育センターの職員を講師に「情報モラル教育講座」を体育館で行いました。インターネットやスマートフォン、ライン、オンラインゲームなどの情報機器を利用するときの正しい知識とモラルを身につけてほしいとのねらいから実施しました。講座では4点（①インターネットに書き込みをすること、②悪意ある人への対策、③ネット依存の対策、④友だちとのトラブル対策）について具体的な事例をもとに説明がありました。生徒たちは初めて知る衝撃的な事例に、今自分たちが行っている利用のしかたには、危険性があり、今後の情報機器との関わり方を見直すきっかけとなったようでした。今回の情報モラル講座で講師の方が話していたことで、大切なことがたくさんありましたので紹介します。

【情報モラル教育講座より】

○デジタルタトゥー→一度インターネット上に公開された書き込みや個人情報は、一度拡散してしまうと後から消すことは困難であること。入れ墨を後から消すことが困難であることにたとえた表現。

○企業は、ゲーム等に依存させることを目的としている。

○ラインなどにスマートフォンで撮影した写真を公開すると、その写真をとった場所の位置情報までわかってしまう。安易に写真を掲載してはいけない。相手から写真を求められても拒否する。

○オンラインゲームには、一人一人に役割があるので抜けられないようになっている。ゲームは無料を謳っていても、アイテムなどの購入や次のゲームに進むのに課金されるようになっている。

○業者はゲームやラインにのめり込むように、利用者の心理を巧みに利用し、依存者を広めている。

○ラインなどを利用する場合、自分と違う意見を認める。書き込んだことで友情の深さを確かめる事はできない。

○ラインやメールなどですぐに返事が来なくてもイライラしない。相手にも人それぞれに自分の時間がある。

○きちんと相手と向き合って話をするのが大事である。

○毎日の生活でダメと言われていること（人の悪口や敵対的な言葉の使用）は、ネットの中でもダメ。

○全国学力検査の結果を見ると、スマホ等の利用時間が長い生徒ほど学力が低下している。

○SNSに操られるのではなく「あやつるこ」になる。

あ→相手のことを考える。

や→役に立つ使い方をする。

つ→使い方を振り返る。

る→ルールを考える。

こ→困ったときは相談する。

※SNSとは・・・ソーシャル、ネットワーキング・サービスの略称でコミュニティ型 Web サイト。グリー、モバゲー、ライン、フェイスブック、ツイッターなどがこれに入る。



以上のことから、保護者として子どもにスマホやゲーム機等を安易に与えるのではなく、その利点や弊害を見極め、子どもとの約束ごとを決めたり、子どもの利用状況をしっかり確認することが必要だと思います。

インフルエンザ・感染性 胃腸炎に注意！

29日現在、10名がインフルエンザや感染性胃腸炎で出席停止となっています。水が冷たくても、石けんをつけてきちんと手洗いをするとともに、こまめにうがいをし、感染症の流行時にはマスクも着用するようにしましょう。また、休日等にはなるべく人混みへの外出は避けるようにしてください。



就学援助受給申請書は2月4日までに！

田村市では、経済的な理由によってお子さんの学習に必要な費用の支払いにお困りの方に、経費の一部を援助する制度があります。本校では1月22日に「就学援助について」のプリントを1、2年生の全生徒に配付してあります。この制度に申し込む方は、就学援助受給申請書に添付書類を添えて、2月4日までに学級担任へ提出してください。なお、申請後審査があるので必ずしも受給が認められるものではありません。